

**【講演】**  
**「依存症を理解するのはむずかしい。  
それでも支援はできます」**

**講師 坂本 満氏**  
(リカバリハウスいちご北大阪 精神保健福祉士)

アルコール健康障害は、本人の自覚が乏しく、支援や相談につながりにくいのが現状です。当事者だけではなく、家族も巻き込まれ疲弊してしまいます。アルコール健康障害の方や家族への支援について、一緒に考えてみませんか。

**日時**

令和6年10月21日(月) 午後13時30分～16時

**会場**

和歌山ビッグ愛 2階 201会議室  
(和歌山市手平2丁目1番2号)

**対象**

保健福祉・医療・行政等で相談支援に携わる方

**定員**

30名 (参加費無料、先着順)

**申込方法**

10月10日までに電話またはFAXでお申し込みください

**申込先**

和歌山県精神保健福祉センター (和歌山市手平2-1-2)  
【TEL】 073-435-5194 【FAX】 073-435-5193

送信票不要

精神保健福祉専門研修(依存症)参加申込書

和歌山県精神保健福祉センター あて

FAX: (073)-435-5193

	お名前	ご所属	職種・資格等	ご連絡先 (電話番号)
1				
2				
3				

※ 車いすスペース、手話通訳や要約筆記など必要な配慮があれば、こちらに記入してください。

11月10日から11月16日は、「アルコール関連問題啓発週間」です



▶▶当日のプログラム

- 13:30~ 【オリエンテーション】
- 13:35~14:00 【体験談発表】  
アルコール依存症の自助グループ
- 14:00~15:20 【講演】  
「依存症を理解するのはむずかしい。  
それでも支援はできます」  
リカバリハウスいちご北大阪  
精神保健福祉士 坂本 満 氏
- 15:20~15:30 【休憩】
- 15:30~15:45 【取組紹介】  
県立こころの医療センター
- 15:45~16:00 【質疑応答】

【講師プロフィール】

1978年関西学院大学社会学部卒業後、アルコール依存症専門病院に5年間勤務。その後、新阿武山病院に入職。アルコール依存症の患者さんとその家族にかかわるとともに、精神障害者のデイケアを立ち上げ、老人性認知症の患者にも関わってきた。退職後、社会復帰施設「リカバリハウスいちご」にて精神保健福祉士としてご活躍中。